

資料番号	10
------	----

令和8年1月19日  
課名 土木建築局建設DX担当  
担当者 課長 為重  
内線 3863

## 「DoboX データチャレンジ 2025」の最終審査会の開催について

### 1 要旨・目的

インフラマネジメント基盤「DoboX」のデータ等を活用し、地域課題の解決に有効なアプリケーションやアイデアなどの優秀作品を選考する「DoboX データチャレンジ 2025」（以下、「コンテスト」という。）を開催しており、この度、応募作品の中から最優秀作品などを決定する最終審査会を2月8日（日）に開催する。

### 2 現状・背景

コンテストについては、データ利活用の重要性・有用性の発信や次世代を担うデジタル人材の育成等を目的として、令和5年度から開催している。

今年度は、令和7年9月16日から11月30日まで作品を募集し、応募のあった35作品を対象に審査委員が1次審査を行い、最終審査会に進む24作品を選定した。

### 3 最終審査会の概要

1次審査を通過した24作品を対象にプレゼンテーション・審査を行い、最優秀作品を決定するとともに、DoboXのデータを活用した作品の中からDoboX特別賞を決定する。

なお、当日の最終審査会については、YouTubeによるライブ配信を行う予定としている。  
（作品概要やYouTubeのURLは別紙参照）

#### （1）開催日時・場所等

開催日時等	令和8年2月8日（日） 12:00～ 開会・プレゼンテーション 17:00～ 審査・結果発表・記念撮影
開催場所	広島大学 東千田キャンパス 地域連携フロア SENDA LAB （広島市中区東千田町1-1-89 慎思棟）

#### （2）審査委員

相原 玲二（委員長）	広島大学 上席特任学術研究員 特命教授
渡邊 一成	福山市立大学 大学院 都市経営学研究科 教授
力石 真	広島大学 大学院 先進理工系科学研究科 教授
松本 慎平	広島工業大学 情報学部 情報マネジメント学科 教授
石崎 浩太郎	Code for Hiroshima 代表
榎本 真美	パシフィックコンサルタンツ（株）情報事業部 技術課長
高沖 正和	広島県 土木建築局 建設企画担当部長

### 4 その他

データ利活用の推進については、今回のコンテストの他にも、民間企業や大学等と連携した取組を実施しており、引き続き、こうした取組を積極的に進めて、サービスの拡充や付加価値の創出、デジタル人材の育成につなげていく。

## ～県のオープンデータを使って、防災や交通の活性化など地域課題を解決～ **DoboX データチャレンジ 2025 最終審査会で最優秀作品を決定します**

日時: R8.2.8(日)12:00～18:00 場所: 広島大学 東千田キャンパス SENDA LAB(広島市中区)

県が運用するデータ連携基盤「DoboX」は、公共土木施設等に関する情報の一元化・オープンデータ化を進めており、これらのデータを皆様に利活用いただくことで、防災・減災や、交通の活性化など地域課題の解決につなげることが可能です。

このため、県では、「DoboX」のデータ等を活用したアプリケーションやアイデアを募集し、優秀作品を選考するコンテスト「DoboX データチャレンジ 2025」を開催しており、この度、**1次審査を通過した24作品について、最終審査会進出者による公開プレゼンテーションを実施し、最も優秀な作品を決定**します。

なお、当日の最終審査会については YouTube によるライブ配信を予定していますので、データ利活用の重要性・有用性を広く理解いただくためにも、ぜひご覧ください。

※作品概要及び YouTube のリンク先は DoboX データチャレンジ 2025 のホームページ  
(<https://dobox-data-challenge.jp/>) をご確認ください。



### 最終審査会の概要

- (1) 開催日時: 令和8年2月8日(日) 12:00～ 開会・プレゼンテーション  
17:00～ 審査・結果発表・記念撮影
- (2) 開催場所: 広島大学 東千田キャンパス 地域連携フロア SENDA LAB (広島市中区東千田町1-1-89)
- (3) 審査: 1次審査通過作品の中から最優秀作品等を決定。
- (4) 作品の活用: 応募作品のうち完成度が高く実用性のある作品は、応募者の承諾を得た上で、作品の公開やサービスの実装などにつなげていきます。

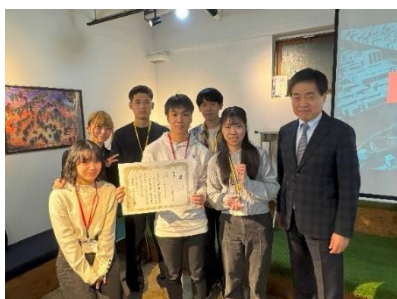
### (参考) DoboX データチャレンジ 2024 最終審査会の状況



作品の発表・審査



表彰後の集合写真



最優秀作品(金賞)表彰



DoboX 特別賞 表彰

# 1次審査通過作品の概要

1次審査通過作品			
<p><b>UMF=地域の希少食材 × 物語性 × 発見体験</b></p> <p>人が少ない場所にもこそ、知られざる食と物語がある UMA（未確認生物）から着想→UMF（未確認食品）を提唱</p> <p>ヒバゴン（UMA） → 発見する希少食材（UMF）</p> <p>3D化したヒバゴンを使った地域の食材探索</p>	 <p>実状に近い公共交通空白地域の推定</p>	 <p>視覚障がい者歩行ナビゲーション 3次元データ計測イベント</p>	 <p>樹園地の持続可能性（解析・可視化）</p>
①ヒバゴン応援隊	②國岡莉里	③チームUIC	④RDB広島2025
<p><b>忠海アーカイブ×DATAKIDS コラボ企画検討</b></p> <p>地域愛を育む歴史伝承のオープンデータ化</p>	 <p>テクノロジーとアートでつなぐ 広島とNY 祈りの記憶</p>	 <p>局地的熱中症リスクの可視化</p>	 <p>行政のコミュニティパス GTFS登録に向けたサポート</p>
⑤忠海アーカイブ・株式会社まちケア	⑥サイバー南無南無	⑦立木深琴	⑧神楽って知ってますか？
 <p>公共交通のリアルタイム可視化</p>	 <p>未発見の古代山城の探索</p>	 <p>災害時における地理的・社会的脆弱性の可視化</p>	 <p>知的好奇心喚起による避難意識</p>
⑨Guide	⑩矢田一喜	⑪こべっこナース	⑫井口山の危険度可視化による防災意識向上班
 <p>空き家などのデータを活用した 出店判断支援ツール</p>	 <p>路面電車と謎解きツアーによる 観光振興</p>	 <p>迷わない！バスのりばへの誘導</p>	 <p>地域の魅力を発見し、空き家の 流通・活用につなげる探索ゲーム</p>
⑬久光亜佳梨	⑭GIS研究会	⑮清水怜一郎	⑯石田響
 <p>平時と災害時における移動時間の 差に着目した避難の検討</p>	 <p>直感的に理解できる 地盤情報の可視化</p>	 <p>動画を活用したインフラツーリズム</p>	 <p>福山市内のバスの活性化</p>
⑰大坪彩七	⑱玉地主一	⑲福山大学都市計画学研究室	⑳福山大学都市計画学研究室
 <p>AIを活用した災害リスク情報等発</p>	 <p>原体験提供を主軸とした 地域の活性化</p>	 <p>福山駅周辺の滞留空間の 創出に向けて</p>	 <p>デジタルを活用した命を守る 防災教育</p>
㉑古川泰地	㉒おやつmore	㉓山澤光晴	㉔青木雄司